

ガバナー公式訪問

●国際ロータリー第 2680 地区ガバナー 安行英文様

「為説は必ずしも自他に関われず、他のための説着、即ち自らのための説着」



ロータリークラブの皆様へ

この度、ガバナーとして、丸尾研一指名委員長によってご指名いただきました、三田 RC の安行と申します。小規模なクラブでの不安、まして、浅学菲才、寡見少聞、区間陋見(くぶんすうけん)、以多問寡、まだまだロータリーの何もわかっていない身ゆえ、皆様にご迷惑をおかけすることが多々あると思います。どうか皆様に善き指導を賜りたく存じます。

さて、冒頭にあげた言葉は、「他人のために説くということは、必ずしも自己と他人との関係の中でなされているのではなく、他のために説くことが、そのままそっくり自己のために説くことにほかならない」という意味です。つまり、自己中心の自分に気づき、そのうえで自己を磨くということなのです。自己を磨くということと自己中心は全く違います。ロータリーに捧げるという決心をした限り、己を磨き、他のために尽くしきっているかどうか問い続けなければなりません。

これは私の師であった、今井鎮雄先生から 20 代の頃、「身を捧げなさい」と教えられたことに通ずる、私の心の芯となって今も常に自問し続けています。今後大役を受けた限りは、今一度自分に問うて、地区はクラブのためにあるという考えのもと、むしろ自分の生きがいも充足させてもらっているのだという謙虚な姿勢で、2680 地区全クラブの下支えとなるよう今後も望みたいと思っています。

どうか、2680地区の各クラブ活性化のためご協力いただきますよう、重ねて心からお願い申し上げます。

ゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長は2023-24 年度会長テーマとして、

「Create Hope in the World 世界に希望を生み出そう」を発表しました。この素晴らしい言葉に、今井鎮雄先生がRI理事だった 1995 年(いろいろな意味で記憶に残る年度であった)、私が今井先生に誘われYMCA やロータリー会員になった、当時のRI会長 ハーバード・ブラウンのテーマ、

「Act With Integrity Serve With Love Work for Peace 真心の行動、慈愛の奉仕、平和に貢献」を早い段階でテーマにしようと考えていました。

それは、今井元RI理事が残した「紛争解決にはライラだよ」と彼が掲げていた理想の中に、いつか紛争解決のプログラムがきっと日本でできると思っていたのですが、よもやゴードン会長の話の中で「平和」について語られたことは縁というものでしょうか。

まごころは、平和への招待状だと思う、世界への、自分への信託だと思います。

RI 会長のテーマを心から歓迎し、まごころを添えて、愛をもって、すべて平和につながるよう取り組んでまいりたいと思います。

